

令和 7 年度基金運用益等活用事業 の変更について

令和7年度「韓哲・まちづくり夢基金」運用益等活用事業（案）

資料 1

No	事業名	分野	担当部署	予算額 (基金充当予定額)	継続・新規
1	グローバル人材育成事業	教育	教育委員会 学校教育課	38,236千円 <u>(25,879千円)</u> ※内追加分 3,644千円	継続 ※4年目
2	プログラミング教育推進事業	教育	教育委員会 学校教育課	2,024千円 <u>(1,076千円)</u> ※内追加分 49千円	継続 ※2年目
3	いじめ・不登校防止対策等総合推進事業	教育	教育委員会 学校教育課	6,815千円 <u>(6,202千円)</u> ※内追加分 2,794千円	新規
4	大阪・関西万博体験事業	教育	教育委員会 学校教育課	10,439千円 (10,439千円)	新規
4	韓哲・まちづくり夢基金事業補助金	その他	市長公室 政策企画課	18,000千円 (18,000千円)	継続 ※8年目
5	SDGs 推進事業	教育	市長公室 政策企画課	550千円 (550千円)	継続 ※2年目

令和7年度「韓哲・まちづくり夢基金」運用益等活用事業（案）

資料 1

No	事業名	分野	担当部署	予算額 (基金充当予定額)	継続・新規
6	高等学校全国募集入学生応援事業	教育	教育委員会 教育総務課	2,700千円 (2,700千円)	継続 ※5年目
7	大学等受験料支援事業	教育	教育委員会 教育総務課	1,325千円 (1,325千円)	継続 ※2年目
8	京丹後市民陸上大会	スポーツ	教育委員会 生涯学習課	300千円 (238千円)	継続 ※5年目
9	国際大会・全国大会出場者への激励金	スポーツ 文化	教育委員会 生涯学習課	800千円 (800千円)	新規
10	京丹後市文化芸術振興計画及び 文化庁移転に伴う文化芸術推進事業	文化	教育委員会 生涯学習課	2,521千円 (1,361千円)	継続 ※4年目
11	地域公民館管理運営事業	社会教育	教育委員会 生涯学習課	2,778千円 (491千円)	新規
12	図書館管理運営事業	図書館	教育委員会 生涯学習課	27,898千円 (13,949千円)	新規
13	社会体育団体育成事業	スポーツ	教育委員会 生涯学習課	3,402千円 (3,402千円)	新規

令和7年度「韓哲・まちづくり夢基金」運用益等活用事業（案）

資料 1

No	事業名	分野	担当部署	予算額 (基金充当予定額)	継続・新規
14	青少年教育事業	社会教育	教育委員会 生涯学習課	1,219千円 (1,219千円)	新規
			合計	119,007千円 (87,631千円) ※内追加分 6,487千円	

No1 グローバル人材育成事業

事業提案様式

分野	教育	担当部署	教育委員会事務局 学校教育課	令和7年度予算計上予定額 (基金充当予定額)	38,236千円 <u>(25,879千円)</u> ※内追加分 3,644千円
目的	国際感覚を持ち将来グローバル社会で活躍できる人材を育成するため、児童生徒を対象に諸外国への興味関心を深め文化や伝統を理解する機会を創設し外国語教育の充実を図るとともに、産学連携のもと新たな可能性を創造するSTEAM教育の推進を図る。				
事業概要・主な経費	<p>※追加の理由：京都府交付金の交付金額減</p> <ul style="list-style-type: none"> ○Kyotango English Day 【対象:小学3・4年生】 22千円 CIR・ALTとの英語による交流会（消耗品費、通信運搬費） ○Kyotango English Camp 【対象:小学5・6年生】 313千円（充：<u>129千円</u> CIR・ALTとの交流会（通信運搬費、施設使用料等） 1泊2日で開催 定員：20人 ○オンライン留学 【対象:中学1年生】 13千円 外国とのオンライン交流を開催。事前研修を含む5回で構成（通信運搬費） ○中学生の海外派遣 【対象:中学2年生】 12,105千円 <u>(6,054千円)</u> 海外へ派遣し、一般家庭での生活体験や現地の学校で、学校生活を体験 派遣先：オーストラリア パース 期間：9日間 人数：20人 ※渡航費用の3/4を補助金交付（旅費、補助金等） ○英語力向上アプリ【対象:市内全中学生、小学5・6年生】 21,019千円 <u>(17,272千円)</u> 1人1台端末においてAIによる英語力向上アプリの活用 市内全中学生は引き続きの活用、小学5・6年生は令和7年度から導入 英語の「聞く」「話す」力を伸ばすとともに英語でのやりとりに自信をもてる生徒を育成（ライセンス使用料等） ○「Kyotango Sea Labo」開催【対象:中学3年生、高校2年生】4,764千円 <u>(2,424千円)</u> 本市の産業等の特色を活かしつつ、丹後学、デザイン思考、STEAM教育の要素を融合させた プログラム（ワークショップ）を専門機関（海外の大学含む）と連携し実施 (報償金、旅費、委託料) 				
	<p>思いやりの心をもち ことばの橋を架けて 未来をつくり出すこども 育てたい3つの資質</p>  <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>お互いを 認め合う心</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>世界とつながる コミュニケーションの力</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>未来を つくり出す力</p> </div> </div> <p>別紙のとおり</p>				

No1 グローバル人材育成事業

事業スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
Kyotango English Day						参加児童募集	事業実施					
Kyotango English Camp						参加児童募集	事業実施					
オンライン留学				現地校とスケジュール等調整	参加生徒募集・決定	事前研修 オンライン交流						
中学生海外派遣	視察・業者選定	派遣生徒募集	選考面接	派遣生徒決定 結団式	月1回程度事前研修							
英語力向上アプリ	アカウントを配布し、学校及び家庭で使用											
Kyotango Sea Labo	プログラムの調整、生徒募集	ワークショップ	プログラムの効果測定・評価、分析、フィードバック、プログラム完成									

No2 プログラミング教育推進事業

事業提案様式

分野	教育	担当部署	教育委員会事務局 学校教育課	令和7年度予算計上予定額 (基金充当予定額)	2,024千円 <u>(1,076千円)</u> ※内追加分 49千円	
目的	中学校技術科の授業について、高度な専門性を有した専門人材に遠隔地から実施していただき、またプログラミング教材の導入により、より充実した学びを児童生徒に届けることを目的とする。					
事業概要・主な経費	<p>○遠隔教育 850千円 (充・426千円) 技術科の専科教員が配置されていない中学校（2校）において、遠隔地から専門性の高い講師による授業を実施することで、より充実した学びを児童生徒に届ける。 技術科の授業において、解決できる問題を見つけ、その問題を解決するための情報収集を行ったり、具体的なシステムのプログラムを制作することで、これから時代に必要な探究的な学びを身に付ける。 主な経費：講師2名の報酬及び費用弁償</p> <p>○プログラミング教材導入 1,174千円 (充・<u>650千円</u>) 令和7年度大学入学共通テストから出題科目となった「情報Ⅰ」で求められる力を育成するため、また教員の働き方改革（教材研究の時間削減）のため、また、技術科の教員配置がなく他教科の本務者が授業を行っている中学校においても質の高いプログラミング教育を行うため、プログラミング教材を導入をする。 対象：全中学校1～3年生 主な経費：ソフトウェア使用料</p>					
	<p>○遠隔教育</p> <p>企業の技術者等 (特別免許状取得)</p> <p>中学校の教員 (技術科の免許を保有していない)</p>  <p>本市には、技術科の教科免許を有した教員がいない学校がある。</p> <p>○プログラミング教材導入</p> 					
	事業ジユール	<p>○遠隔教育 令和7年4月～令和8年3月：遠隔授業実施 ※技術科「計測・制御のプログラミングによる問題解決」等 (計18時間)</p> <p>○プログラミング教材導入 令和7年4月導入</p>				

No3 いじめ・不登校防止対策等総合推進事業

事業提案様式

分野	教育	担当部署	教育委員会事務局 学校教育課	令和7年度予算計上予定額 (基金充当予定額)	6,815千円 <u>(6,202千円)</u> ※内追加分 2,794千円
目的	近年増加している児童生徒の不登校やいじめの防止対策のひとつとして1人1台端末の匿名相談アプリにて悩み相談に応じるもの				
事業概要・主な経費	<p>○匿名相談アプリ「STANDBY」の導入 1,227千円 (充・1,117千円) 対象：市内小中学校の全児童生徒 主な経費：匿名相談アプリ使用料</p> <p>○SOSの出し方教室に係る出張授業委託料 198千円 (充・180千円) いじめに限らず、不登校をはじめ、学校や家庭でのさまざまなストレスや、不安などを一人で抱え込むことなく、大人や周りの友達に相談することの重要性を授業の中で体験してもらう。 また、近くの人に相談しにくい場合には匿名アプリを使って相談できることを伝え、対面での相談がしにくい子どもの声を拾えるようにする。 対象：市内小中学校の全児童生徒 主な経費：講師2名の報酬及び費用弁償</p> <p>○SNS相談業務委託料 5,390千円 (充・4,905千円) 令和6年度10月より、上記出張授業を行い、匿名相談アプリSTANDBYを導入したところ、11月末下旬の約2か月で800件を超える相談が寄せられた。 (うち、いじめの相談は130件程度)。その後も1日あたり10~20件の相談が寄せられており、いじめや不登校の相談について、より精度が高く、丁寧な対応を進めるためにも、専門のカウンセリングセンターへ相談業務を委託するもの。 学校教育課は毎日の相談内容を確認し、いじめが起こっていると危惧される場合は、本人や保護者の同意のもと、学校との連携を図り、早期の解決を目指す。 対象：市内小中学校の全児童生徒 相談時間：平日の16時~21時 主な経費：相談に係る人件費</p>				
事業スケジュール	<p>SOSの出し方教育</p>  <p>専任講師が現地もしくはオンラインで授業を実施</p> <p>STANDBY (スタンドバイ)</p>  <p>個人の端末だけでなく、学校で配布される一人一台端末を活用し、すべての子どもがSOSをどこでも出せる環境をつくる</p>				
					<p>○匿名相談アプリ「STANDBY」の導入 令和7年4月~令和8年3月</p> <p>○SOSの出し方教室に係る出張授業委託料 令和7年5月頃：対面での授業をクラスや学年ごとに実施</p> <p>○SNS相談業務委託料 令和7年4月~令和8年3月を委託予定 ※いじめ発生等、緊急性の高い相談がある際には委託先より報告を受け、いじめなどへの迅速な対応を行う。</p>